

Scholarship Selection



橋口亮輔
二十才の微熱

35mmフィルムで蘇る!

フィルムタワーセレクト

李相日
BORDER LINE



荻上直子
バーバー吉野

PFFスカラシツ



傑作選



内田けんじ
運命じゃない人

石井裕也
川の底からこんにちは



35mmフィルムで蘇る! PFFスカラシップ傑作選

日本映画界を牽引する監督たちの商業デビュー作を世に送り出してきた「PFFスカラシップ」。1984年の創設から38年を迎える2022年今夏、新作2作『猫と塩、または砂糖』(7/23公開)、『裸足で鳴らしてみせろ』(8/6公開)の連続公開を祝して、過去のPFFスカラシップ作品の名作を35mmフィルム上映で振りかえります。PFFや国立映画アーカイブ所蔵の上映可能な35mmフィルムから、各劇場がセレクトした〈ミニシアターセレクション〉でお届けします。

二十才の微熱 (ニュープリント) 橋口亮輔

19歳の樹(たつる)は、ごく普通の大学生の生活を送る一方、アルバイトとして少年売春クラブで身体を売っている。家族からも友達からも距離を置いて付き合いつつ、常に優しい彼に、大学の先輩・頼子と、売春クラブで出会った高校生の信ちゃんとは惹かれていく。優しすぎる世代の息遣いを、日常的な風景の中で静かに描き出し、リアルな感覚が胸に響く青春映画。



[第6回 PFFスカラシップ作品] 1992年/114分/カラー/35mm ※国立映画アーカイブ所蔵作品
監督・脚本:橋口亮輔 | 出演:袴田吉彦/遠藤雅/片岡礼子/山田純世/佐藤理治



はしちゅ・りょうすけ
『ヒュルル…1985』が大島渚監督の支持を受けPFF入選。3年後、『夕顔の秘密』がPFFアワード1989にてグランプリ受賞。代表作:『ハッシュ!』(01)『ぐるりのこと。』(08)『恋人たち』(15) ***来場予定**

バーバー吉野 荻上直子

のどかな風景の田舎町。小学生の男子たちは全員、「バーバー吉野」でおぼちゃんが列る“吉野ガリ”というおかつぱ頭になっている。誰もかそれは普通のことだと思っていたが、ある日、東京から茶髪でモダンな髪型の転校生・坂上君がやって来て……。町の男子が全員同じ髪型!田舎町、舞台に、小学生のリアルな日常を描き出し、妙に懐かしい気持ちになるメタメタツタの物語。



[第13回 PFFスカラシップ作品] 2003年/96分/カラー/35mm
監督・脚本:荻上直子 | 出演:もたいまさこ/米田良/大川翔太/村松諒/石田法嗣



おきがみ・なおこ
PFFアワード2001にて『星ノくんと夢ノくん』が音楽賞(TOKYO FM賞) & 観客賞(神戸)受賞。代表作:『かもめ食堂』(06)『彼らが本気で編むときは、』(17)『川べりコリッタ』(22) ***来場予定**

川の底からこんにちは 石井裕也

上京して5年目のOL佐和子は、5人目の彼氏で職場の上司・健一とその連れ子・加代子と共に仕事にも恋愛にも「妥協」の二文字を胸に悶々とした日常を過ごしていた。そんなある日、実家のしじみ加工会社を営む父が倒れ、一人娘の佐和子が跡を継ぐことになるのだが……。自称“中の下”の女性が、どん底に堕いつめられた末に開き直り、逆境に立ち向かう姿をユーモラスに描いた、人生コメディ。



[第19回 PFFスカラシップ作品] 2009年/112分/カラー/35mm
監督・脚本:石井裕也 | 出演:満島ひかり/遠藤雅/相原綺羅/志賀廣太郎/岩松了



いしい・ゆうや
PFFアワード2007にて『剥き出しにっほん』がグランプリ受賞。代表作:『舟を編む』(13)『映画 夜空はいつでも最高密度の青色だ』(17)『アジアの天使』(21)

企画制作:マジックアワー 企画協力:一般社団法人PFF

BORDER LINE 李相日

やる気のないタクシー運転手の黒崎は、自転車で行っていた高校生・松田を轢いてしまう。『北海道まで行く』と言い張る彼。仕方なく黒崎は行動を共にするのだが、ラジオで流れたニュースで、彼が父親を殺害し逃げてきたことを知ってしまう……。実際に起きた事件をモチーフに、家族とのつながりに傷を持つ同士の一瞬の触れあいを描いた珠玉のロードムービー。



[第12回 PFFスカラシップ作品] 2002年/118分/カラー/35mm
監督:李相日 | 脚本:李相日/松浦本 | 出演:沢木哲/前田綾花/光石研/村上淳/森下能幸



り・さんいる
PFFアワード2000にて『青〜chong〜』がグランプリを含む4賞を受賞。代表作:『フラガール』(06)『悪人』(10)『流浪の月』(22) ***来場予定**

運命じゃない人 内田けんじ

金曜の夕方。最愛の人に去られた冴えないサラリーマンの宮田は、帰宅するなり探偵を営む友人に呼び出された。待ち合わせ場所のレストランで、彼はある女性と出会い恋に落ちる。しかしその影で、とんでもない事件が起こっていた……。ある一夜の出来事を登場人物それぞれの視点からコミカルに描いた新感覚のタイムスバイラルロードムービー。



[第14回 PFFスカラシップ作品] 2004年/98分/カラー/35mm
監督・脚本:内田けんじ | 出演:中村靖日/霧島れいか/山中聡/眞島秀和/近松仁



うちだ・けんじ
PFFアワード2002にて『WEEKEND BLUES』が企画賞(TBS賞) & プリアント賞(日活賞)受賞。代表作:『運命じゃない人』(05)『アフタースクール』(08)『鍵泥棒のメソッド』(12) ***来場予定**

PFFスカラシップとは

ぴあフィルムフェスティバル(PFF)が行う映画制作プロジェクト。1984年に、8ミリ自主映画しか経験のない監督とプロのスタッフを組み合わせ、16ミリフィルムで長編作品を制作し、劇場公開デビューを目指した試みが始まり。その後、協力各社を得て、PFFアワード受賞者を対象とした長編映画制作プロジェクトとして継続。国内外で話題となる作品が生まれている。<https://pff.jp/scholarship>

今夏 新作2作連続公開 ユーロスペース ほぼ全国順次ロードショー

	7.23(土) 公開	第25回 PFFスカラシップ作品 猫と塩、または砂糖 監督:小松孝
	8.6(土) 公開	第27回 PFFスカラシップ作品 裸足で鳴らしてみせろ 監督:工藤梨穂

ミニシアターセレクション 詳細情報はこちら▶

35mmフィルムで蘇る! PFFスカラシップ傑作選



7.16-7.22

ユーロスペース セレクション			連日 18:30の回	■一般 ¥1,500(税込) / 学生・シニア・会員 ¥1,200(税込)
7/16(土)	二十才の微熱	*初日来場者に特別プレゼントあり!	7/20(※)	川の底からこんにちは
7/17(日)	BORDER LINE	*李相日監督来場(予定)	7/21(※)	バーバー吉野
7/18(月祝)	二十才の微熱	*橋口亮輔監督来場(予定)	7/22(金)	二十才の微熱
7/19(※)	運命じゃない人	*内田けんじ監督来場(予定)		

*ゲスト登壇者は予定につき、予告なく変更となる場合がございますので予めご了承ください

ユーロスペース
EUROSPACE
渋谷・文化村前交差点左折
TEL:03-3461-0211
www.eurospace.co.jp